

## 平成 26 年度決算の概要

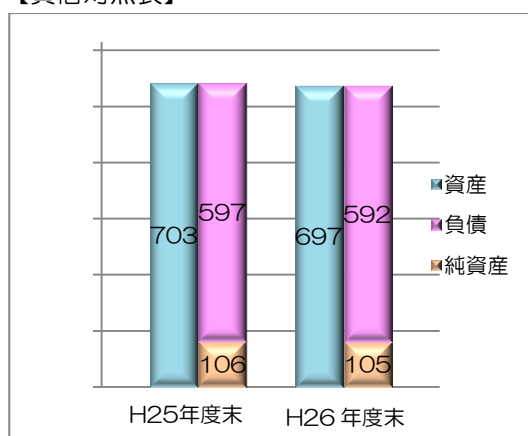
診療報酬改定や消費税の改正，光熱水費の高騰など，病院を取り巻く環境が急激に厳しさを増す中，通常の事業活動による利益を示す経常損益において，独立行政法人化以降，6期連続で黒字を達成しました。

経営に対する取り組みとしては，年度計画の達成に向け，院長による全部門ヒアリングを引き続き実施し，組織目標や課題認識の共有，課題解決への取り組みを通して，PDCAサイクルの確立や全職員の経営意識の向上を図りました。

上記取り組みの結果，当期純利益は約3億円，単年度資金収支は約15億円の黒字となり，いずれも概ね目標値どおりとなりました。

### 平成 26 年度財務状況

【貸借対照表】



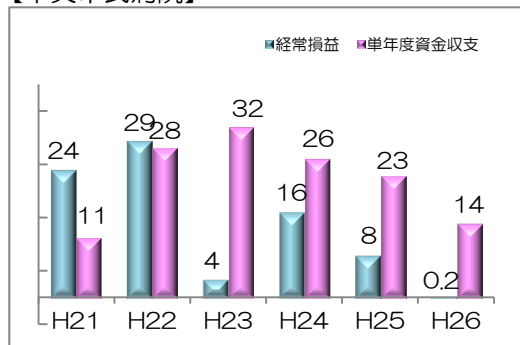
【損益計算書】

(単位：億円)



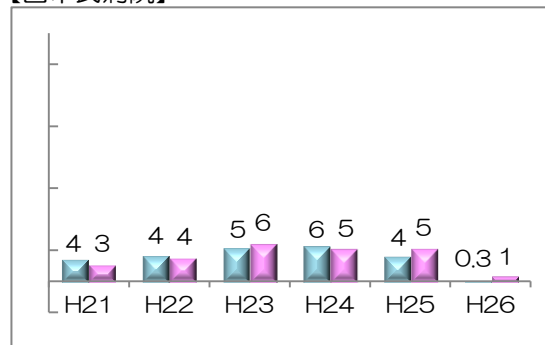
### 病院別経営状況

【中央市民病院】



【西市民病院】

(単位：億円)



平成 27 年度においても，安定的な経営基盤を維持するため，年度計画の着実な実行及び達成に引き続き取り組みます。また，地域医療の中核を担い，質の高い医療の提供，患者サービスの一層の向上，地域医療機関等との連携強化に努め，だれもが安心して医療を受けられる病院を目指し，今後も市民の生命と健康を守るという市民病院としての使命を果たし続けていきます。